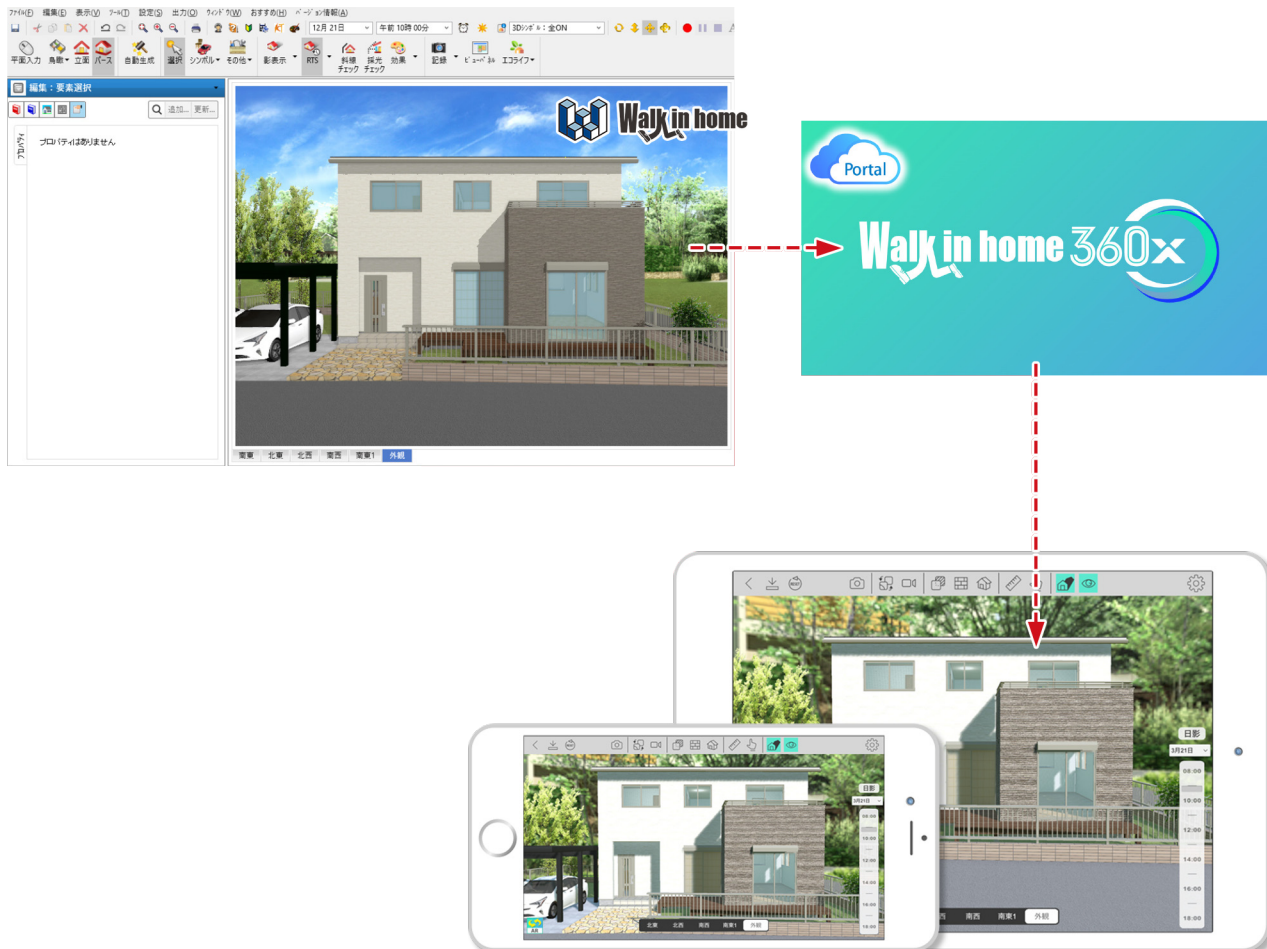


Walk in home 360x



Walk in home 360x はスマホやタブレットで、Walk in home で作成した 3D パースを用いて、家の中を歩いているような感覚で閲覧できるアプリです。

建物の内外を自由にウォークスルーしたり素材変更、背景合成、日付けと時間を指示し日影のシミュレーションを行うこともできます。

⚠ 注意

「Walk in home 360x」の利用にあたり、以下の動作環境が必須となります。

- ・ iOS/iPad OS 17.0 以上
- ・ android 14.0 以上

それでは、「Walk in home 360x」をインストールし操作してみましょう。

WIH 360x のインストール

右の QR コードを読み取り、アプリをインストールしてください。

+ 補足

QR コードを読み取れない場合は、「App store」「Google play store」で「Walk in home 360x」と検索してください。

〈iPhone/iPad 用〉



iOS 17 以降対応

〈Android 用〉



android 14 以降対応

プランの読み込み

■ QR コード読み込み

共有された QR コードを読み込むことで、プランを追加します。

Walk in home 360x を起動します。

1「」アイコンをタップし 2「カメラで QR コードをスキャンする」を選択します。

QR コードを読み込むと 3 プランが追加されます。

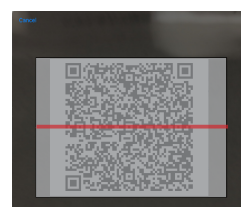
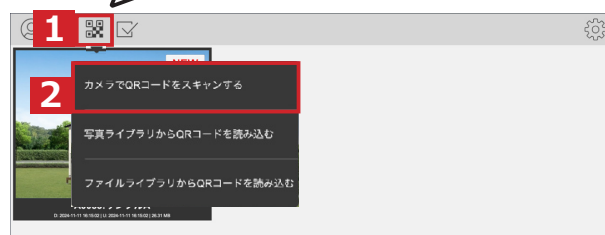
プラン名をタップし、データを表示しましょう。

+ 補足

共有された QR コードの画像を写真アプリ等に保存している場合は、「写真ライブラリから QR コードを読み込む」から選択してください。



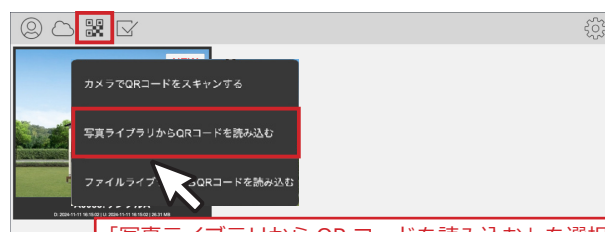
アイコンをタップ



カメラで QR コードをスキャン



プランが追加



「写真ライブラリから QR コードを読み込む」を選択

WIH 360x システム設定

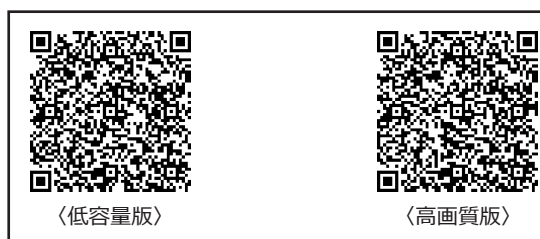
画面右上の「」より各種設定を行います。

■ WIH360x マスタ

WIH360x 用のマスタデータの追加・切替が出来ます。

1「」から2「カメラでQRコードをスキャンする」をタップし、下図のQRコードを読み込みます。

その後、3 マスタを選択してください。



※スペックによっては上手く読み込めずアプリが落ちる場合もありますので、その際は「低容量版」にて再読み込みをお願いします。

また、標準マスタが基本となりますが、スペックによっては高画質版の読み込みも可能ですので、ぜひお試しください。

■ 操作マニュアル

WIH360x の操作マニュアルが表示されます。

詳細な手順についてはこちらをご確認ください。

■ システム設定

プルダウンよりプラン上での「描画品質」「ツールバーの配置」を設定します。

影表示の細かさや質感のレベルを「高～影なし」から選択してください。

動作が重いときに、「低」または「影なし」にすることで改善する場合があります。

⚠ 注意

端末の搭載 RAM が 6GB 未満の場合は「高」設定は使用できません。

■ バージョン情報

WIH360x のバージョンを確認できます。



WIH360x の操作

左下のボタンを押すことで、AR モード⇔Walk モードに切り替わります。

■ AR モード

建物を回したり、ズームインして内部を見ることができます。

- ・ 1 本スワイプ：建物を縦横斜めに回転します。
- ・ 2 本スワイプ：建物を縦横斜めに平行移動します。
- ・ ピンチアウト：ズームイン・ズームアウトします。ズームインすると建物内部へ移動します。

■ Walk モード

プラン内をウォークスルーしたり、任意の視点にワンクリックで移動できます。

- ・ 1 本スワイプ：上下で前進後退、左右で回転します。
- ・ 2 本スワイプ：見上げ、見下げ、左右を見渡します。
- ・ 3 本スワイプ：視点の高さを変更します。



〈AR モード〉



〈Walk モード〉



①戻る <

管理画面へ戻ります。

②保存 保存アイコン

プランデータを保存します。

③ RESET RESETアイコン

編集前の状態に戻します。

④画像保存 画像保存アイコン

お気に入りのアングルをカメラロールに保存します。

⑤背景変更 背景変更アイコン

端末に保存している画像を背景として変更できます。

⑥カメラ切替 カメラ切替アイコン

端末のカメラが起動し、建築予定地などを背景に合成できます。

⚠ 注意

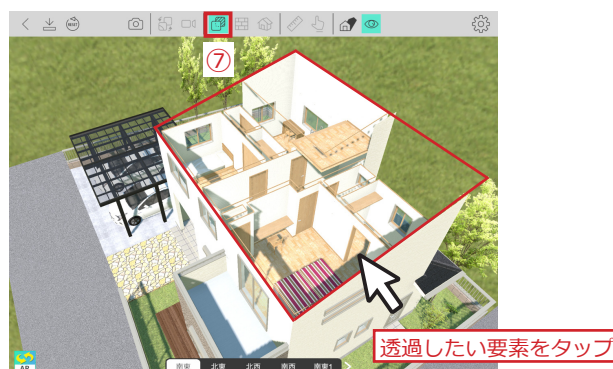
「画像保存」「背景変更」「カメラ切替」する際は、使用している端末で写真へのアクセスを許可してください。

⑦素材透過 素材透過アイコン

ON にすると、タップした要素を透過します。



⑥



⑧素材変更

画面上で選択した要素のテクスチャを変更します。

1 素材変更ボタンをクリックし、2 変更したい要素をタップします。

テクスチャー一覧から 3 任意の素材を選択すると変更されます。



⑨スタイル・素材・個別変更

対象箇所のスタイル・要素を変更できます。

1 アイコンをクリックし、2 「スタイル変更」「共通素材変更」「個別素材変更」より任意のタブを選択します。

対象箇所のタブをタップし、3 任意のテクスチャを選択すると変更されます。



+ 補足

変更した内容を「お気に入り一覧」に最大3つまで登録ができます。
テンプレ化することで任意のスタイルにワンクリックで変更できます。

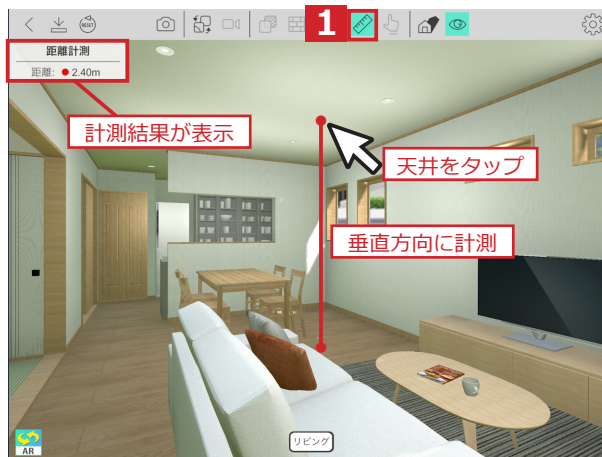


⑩計測

任意の水平・垂直距離を計測できます。

1「計測」を選択し、計測したい部分をタップします。左上に計測距離が表示されます。

〈天井をタップした場合〉



〈壁をタップした場合〉



⑪部材編集

タップした部材の移動・伸縮・回転・変更ができます。

1「部材編集」を選択し、編集したい部材をタップします。



2 各タブをタップし「移動」「伸縮」「回転」「変更」を切り替えます。

3 任意の矢印をタップし、動かしたい方向にスワイプすると移動します。
伸縮と回転も同様の手順です。

+ 補足

赤線：前後への移動・伸縮を行います。

緑線：左右への移動・伸縮を行います。

青線：上下への移動・伸縮を行います。

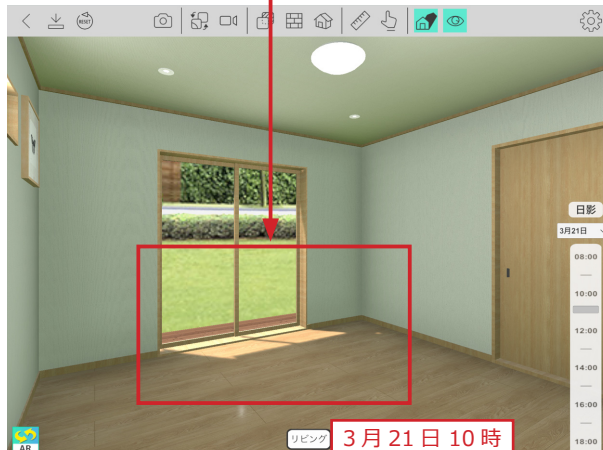
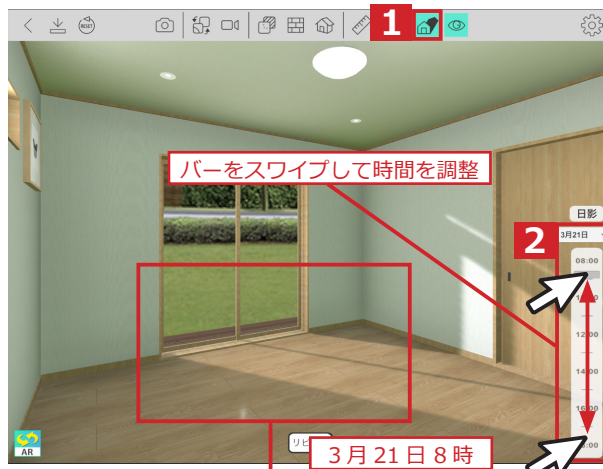


⑫ 日影シミュレーション

日付けと時間を指示し、日影シミュレーションができます。

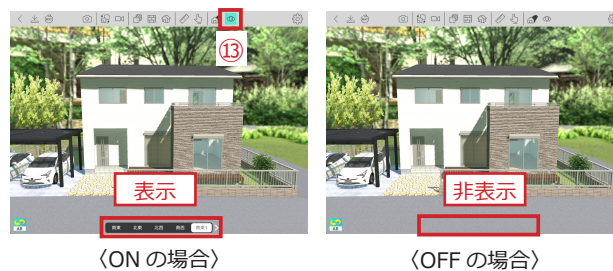
1 「日影シミュレーション」をタップします。

2 プルダウンで日時選択し、バーをスワイプして時間帯を変更します。



⑬ アングルタブ表示 / 非表示

画面下部のアングルタブの表示設定を行います。



⑭ 設定

「描画品質」「ツールバーの配置」の設定を行います。

詳細手順は [p.3](#) を参照ください。

